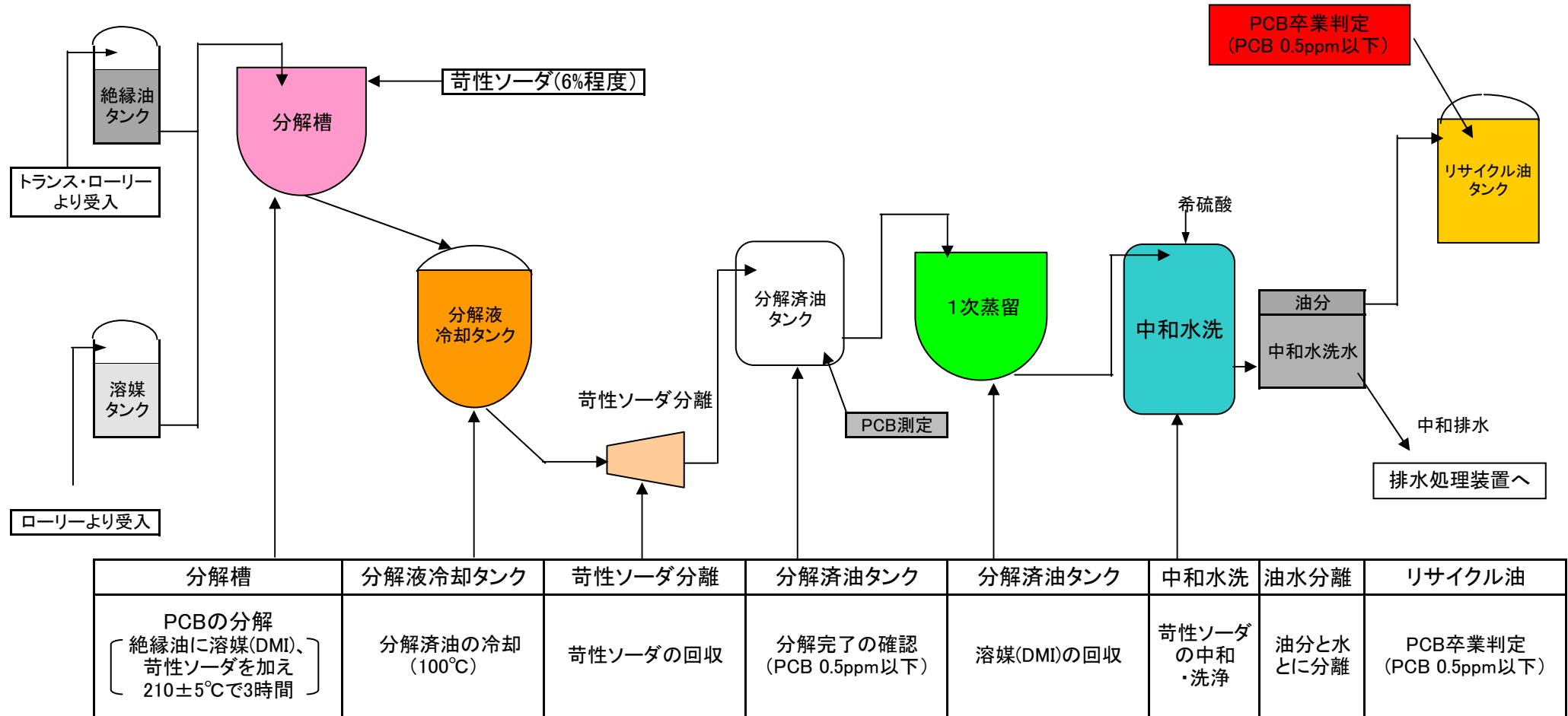


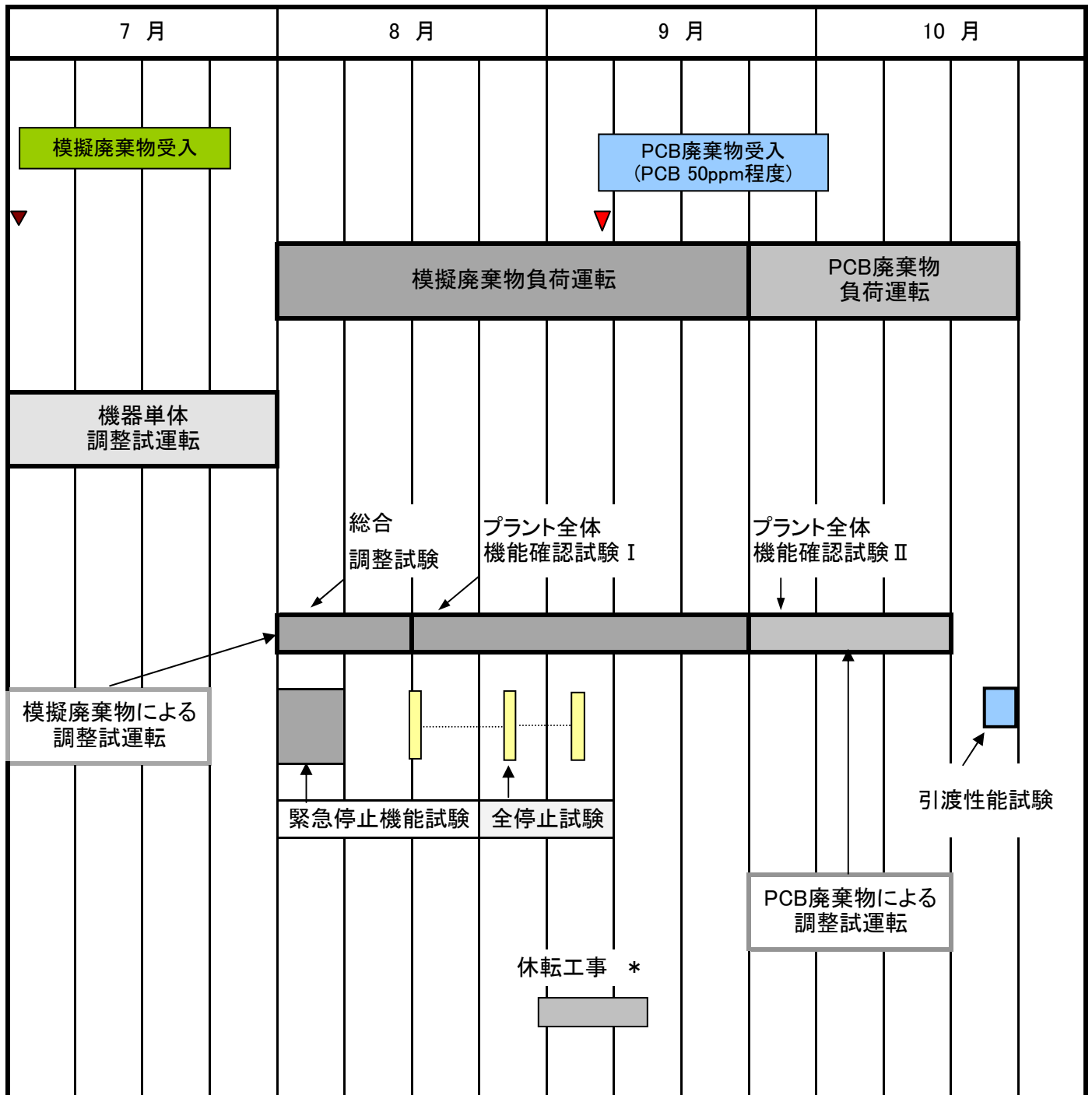
東京PCB処理施設(低濃度)における
試運転結果について(概要)

平成17年11月

1. 低濃度プラントの概要



2. 試運転実施工程



* 試運転時の改善工事(苛性ソーダ攪拌機改良、流量調整用オリフィス取付など)

3. 処理実績

模擬廃棄物 (非PCB)	処理計画		処理実績	
			総合調整試験	全体機能確認試験 I
絶縁油 (トランス抜油)	バッチ数	26	6	20
	絶縁油量(KL)	20	5	15

PCB廃棄物	処理計画		処理実績	
			全体機能確認試験 II	引渡性能試験
絶縁油 (トランス抜油)	バッチ数	28	16	12
	絶縁油量(KL)	21	12	9

4. 試験結果(環境性能)

区分	項目	結果概要
環境保全	(1) 環境要件達成の確実性	<p>・下記のとおりPCB、ダイオキシン類濃度は、基準値を満足することを確認。</p> <p>排気：(1) 抜油作業場局所排気活性炭出口 PCB 0.000000012 mg/m³ (基準値 0.0001 mg/m³未満) DXNs 0.0000020ng-TEQ/m³ (基準値 0.1 ng-TEQ/m³未満)</p> <p>(2) 分解室活性炭出口排気 PCB 0.000000017 mg/m³ (基準値 0.0001 mg/m³未満) DXNs 0.0000042ng-TEQ/m³ (基準値 0.1 ng-TEQ/m³未満)</p> <p>排水： PCB 0.0000015 mg/L (基準値 0.0030 mg/L未満) DXNs 0.033pg-TEQ/L (基準値 10pg-TEQ/L未満)</p>
	(2) 設備・系統構築物の密閉性	<p>・換気空調設備の調整により、室内(分解室)の負圧維持が可能であることを確認。</p>
	(3) 作業環境性達成の確実性(作業場濃度)	<p>・抜油作業場で下記のとおりPCB、ダイオキシン類濃度は基準値を満足することを確認。</p> <p>作業環境： PCB 0.000061 mg/m³ (基準値 0.1 mg/m³未満) DXNs 0.061pg-TEQ/m³ (基準値 2.5 pg-TEQ/m³未満)</p>

※分析値は全て公定分析値を示す。

5. 試験結果(安全性)

区分	項目	結果概要
安全性	(1) 作業従事者 安全性・衛生性	<ul style="list-style-type: none"> ・作業環境中のダイオキシン類濃度は前記のとおり低レベル。 ・作業者全員に対し就業前の健康診断を実施。
	(2) 設備の安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉非常停止及び停電を想定した緊急停止機能試験を実施し正常に停止することを確認。 また非常用発電機が自動起動し、必要な電源が確保できることを確認。 ・分解槽圧力・温度など重要な監視計器多重化の機能を確認。 ・火災報知器・ガス検知器が正常に作動することを確認。 ・万一のPCBの漏洩にそなえ、オイルパン、妨油堤、不浸透床の施工に問題がないことを確認。

6. 試験結果(処理性能)

区分	項目	結果概要
処理能力	(1) 卒業基準達成	<ul style="list-style-type: none"> ・下記について卒業達成 (卒業基準: 0.5ppm以下) <li style="text-align: center;">リサイクル油 0.0012 ppm
	(2) 処理量達成の确实性	<ul style="list-style-type: none"> ・絶縁油計画処理量達成: <li style="padding-left: 40px;">実績: 1バッチ: 640kg、 1日: 5.94 KL <li style="padding-left: 40px;">計画: 1バッチ: 620kg、 1日: 5.76 KL ・PCBの确实な分解処理: PCB分解3時間で処理完了。 <li style="padding-left: 40px;">実績: PCB 0.0021 ppm <li style="padding-left: 40px;">計画: PCB 0.5ppm以下

※分析値は全て公定分析値を示す。